



2024年 沖縄世界選手権 2025年 東京デフリンピックへ

第24回夏季デフリンピック競技大会 ブラジル2021では新型コロナウイルスの影響で男女ともに途中棄権という結果に終わりました。この悔しさをバネに、沖縄世界選手権、東京デフリンピックで金メダルをめざします。



日本代表男子監督
村井 貴行



日本代表女子監督
狩野 美雪

デフバレーボール日本代表チームを応援してください。

日本代表チームには、デフリンピックの知名度が低いことなどから、活動資金が集まりにくく、合宿参加や海外遠征などにも日本代表選手に多額の自己負担を強いている状態です。実力があっても経済的な理由から、日本代表を辞退せざるを得ない選手もいます。日本デフバレー協会では、日本代表選手の負担を軽減できるよう鋭意努力しておりますが、恒常的に活動資金が不足しております。皆様より、代表チームにご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

日本代表チームは下記の企業様にサポートいただいています



一般社団法人日本デフバレーボール協会
〒114-0034 東京都大田区西糀谷3-18-14(事務局)
FAX: 03-3745-7686 Email: info@jdva.org URL: https://www.main.jdva.org/

DEAF VOLLEYBALL

デフバレーボール

歓声も仲間の声さえも
聞こえない世界で、
熱を伝え合い躍動する



デフバレーとは 聴覚障がい者 (deaf) による バレーボール競技です。

競技ルールは、一般のバレーボールと全く同じ。

ただ選手たちにはコート上でのすべての音が聞こえません。

声によるプレーの連係は難しく、監督の指示の声も届きません。

しかし選手たちは声の代わりに、手話・読話・手話通訳・アイコンタクトなどを駆使して健聴者に負けない高度な戦術を展開します。

ぜひ、コートで躍動する選手たちの熱気・戦いぶりを会場で感じてください。



日本デフバレーボール協会は、デフバレーボールを通じて、
聴覚障がいへの理解を深め、共存社会の実現をめざします。

聴覚障がい者によるデフスポーツは、ほとんど知られていません。

デフスポーツ選手は他の障がいと比較し身体能力が高いこと、手話による運営側などとのコミュニケーションが難しい等の理由からパラリンピックには参加できません。

「デフリンピック」や「世界選手権」が世界最高峰の大会で、デフバレーボール日本代表は世界一を狙う強豪です。

私たちはデフバレーボールを通じて、聴覚障がいへの理解を深め、共存社会の実現をめざします。



一般社団法人 日本デフバレーボール協会

大川 裕二



私たちは、日本代表チームの
国際大会参加をサポートしています。

■デフリンピック (Deaflympics)

4年に一度、世界規模で行われる聴覚障がい者のためのデフスポーツ国際総合競技大会です。夏季大会と冬季大会があり、夏季大会は1924年にフランスで、冬季大会は1949年にオーストリアで始まりました。デフリンピック (Deaflympics) は、IOCの承認を得た名称です。コロナ禍の中、2022年にブラジル カシアス・ド・スルで開催された夏季大会では、73の国と地域、2,408名が参加しました。そして2025年は初めての東京大会が予定されています。

■世界選手権 (World Deaf Volleyball Championships)

4年に一度、デフリンピックの前年に開催されるデフバレーボールの世界大会です。2024年には沖縄の豊見城市で開催されます。

2024年 デフバレーボール世界選手権

2024年に第5回デフバレーボール世界選手権が沖縄(豊見城市)で開催されます。デフリンピックの前年に世界各国のチームが一堂に集まる大会です。

2025年 東京デフリンピック

4年に一度開かれる聴覚障がいのある人たちのスポーツの国際大会「デフリンピック」
2025年夏の大会が、東京開催となることが決まりました。日本での開催は初めてとなります。

今後の主な
国際大会